

沙流川の減災に関する取組方針 フォローアップ

* 道管理区間はH29～H33

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)						H29取組内容	H30取組内容	取組に向けた課題
					H28	H29	H30	H31	H32	H33			
ハード対策	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	堤防整備(富川地区:国)	室蘭開発建設部	～平成32年度	■	■					富川地区で築堤工事を実施	継続実施	
		堤防整備(千栄地区、幌毛志地区、波恵川:道)	日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)	～平成33年度	■						沙流川(千栄地区)で築堤工事を実施	沙流川(千栄地区)、波恵川で築堤工事を実施	
		河道掘削(河口左岸～平取、二風谷地区、平取町長知内地区～日高町本町地区:国)	室蘭開発建設部	～平成32年度	■	■					富川・紫雲古津地区で掘削工事を実施	継続実施	
		河道掘削(千栄地区、幌毛志地区、波恵川、日高門別川:道)	日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)	～平成33年度	■						沙流川(千栄地区、幌毛志地区)、波恵川、日高門別川で掘削工事を実施	継続実施	
		河道内伐木:道	〃	～平成33年度	■						日高門別川で伐木工事を実施	沙流川(千栄地区、幌毛志地区)で伐木工事を実施	
		ダム建設:国	室蘭開発建設部	～平成31年度	■	■					基礎掘削、コンクリート打設工事を実施	コンクリート打設工事を実施	
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護(富川地区ほか3地区)	〃	〃	～平成32年度	■	■				富川地区で堤防天端保護実施(富川地区ほか3地区を含め終了)	—	
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	室蘭開発建設部 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)	平成28年度から実施	■	■					周知継続	周知継続	平成28年度から運用開始継続的な周知が必要道管理区間は危機管理型水位計の整備が必要
		洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	室蘭開発建設部	平成29年度から実施	■	■					平成29年度にシステムを構築し、平成30年5月1日より運用開始	周知継続	継続的な周知が必要
		内水排水活動を安全かつ円滑に行うための整備	室蘭開発建設部 日高町、平取町	平成28年度から検討実施	■	■					内水排水活動に関する検討	内水排水活動に関する検討	
広域的に氾濫する地域特性や迅速かつ確実な避難のための避難行動に関する取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所の検討	〃	平成28年度から検討実施	■	■					広域避難計画を検討しつつ、ハザードマップ作成を推進	広域避難計画を検討しつつ、ハザードマップ作成を推進 日高町(H31.3月公表予定) 平取町(H31.3月公表予定)	
		道路管理者との連携による、避難行動の遅れに備えた情報伝達の検討	〃	平成28年度から検討実施	■	■					通行止め情報等の提供を実施	継続実施	
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上や、流域2町と関係機関が連携したタイムラインを作成・情報伝達等の検討	室蘭開発建設部、 室蘭地方気象台、 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)、 日高町、平取町	平成28年度から実施	■	■					避難勧告着目型タイムライン策定のほか、多機能連携型の日高町タイムライン試行版を策定	道管理区間の避難勧告着目型タイムラインを検討	タイムライン試行版を継続で検証が必要
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し	日高町、平取町	平成28年度から検討実施	■	■					地域防災計画の見直しに向けた資料収集・整理	地域防災計画の見直しに向けた検討	
		避難行動の遅れに備えた避難場所の確保・訓練等に関する取組を促進	〃	～平成32年度	■	■					避難場所等の資料収集・整理	避難場所等の検討	
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	室蘭開発建設部 室蘭地方気象台	平成28年度	■	■					—	—	平成28年度から運用開始
		気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	室蘭地方気象台	～平成29年度	■	■					システムの構築 配信開始	—	
	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	室蘭開発建設部 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む) 日高町、平取町	平成28年度 平成29年度から検討実施	■ ■	■ ■					平成29年7月28日に沙流川(千栄地区)の洪水浸水想定区域図を公表	水位周知河川(厚別川)の洪水浸水想定区域図を公表予定 水位周知河川以外の道管理河川:洪水氾濫区域図を検討	平成28年11月31日、平成29年3月31日に洪水浸水想定区域図を公表
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	室蘭開発建設部 日高町、平取町 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む) 日高町、平取町	～平成30年度 平成29年度から検討実施	■ ■	■ ■					ハザードマップの検討 ハザードマップの検討	ハザードマップの更新作業 日高町(H31.3月公表予定) 平取町(H31.3月公表予定)	
		小学生を中心とした沙流川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	室蘭開発建設部、 室蘭地方気象台、 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)、 日高町、平取町	平成28年度から実施	■	■					防災教育素材を収集	指導計画作成	
関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催		〃	平成29年度から実施	■	■					出前講座素材収集・検討	出前講座を実施予定		
ホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	〃	引き続き実施	■	■					更新の実施	継続実施			
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	室蘭開発建設部、 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)、 日高町、平取町	引き続き実施	■	■					平成29年6月30日に共同点検を実施	継続実施	
		速い水位上昇を想定した水防訓練を関係機関と連携し継続実施	〃	引き続き実施	■	■					平成29年5月29日に災害対策車操作訓練を実施(二風谷ダム管理所)	継続実施	
		迅速な水防活動を支援するため、水防資機材の配備や備蓄を検討し充実させる	〃	平成28年度から実施	■	■					水防資機材の補充を実施	必要に応じて補充を実施	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	日高町、平取町	平成28年度から実施	■	■					リーフレットの配布やポスター掲示を実施	継続実施	
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	〃	平成28年度から実施	■	■					自衛隊等の災害派遣要請について確認	継続実施	
		高齢者等の要支援者に対する避難体制の確立	〃	平成29年度から実施	■	■					避難体制の確立の資料収集・整理	避難体制の確立の検討	
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	〃	〃	平成28年度から実施	■	■				拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有資料収集・整理	拠点施設(警察、病院等)に対し、水害リスクについての情報共有資料収集・整理		
社会経済活動の早期復旧のための取組	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	室蘭開発建設部、 日高町、平取町	～平成30年度	■	■					排水計画の資料収集・整理	排水計画の検討	
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	室蘭開発建設部、 日高振興局(室蘭開発建設管理部含む)、 日高町、平取町	平成28年度から実施	■	■					継続実施	継続実施	平成28年4月27日に減災対策協議会で確認

上段:方針とりまとめ時の予定
 下段:着手状況

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信¹

30年5月1日から、沙流川水系の日高町、平取町で洪水情報を配信開始します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。

北海道開発局室蘭開発建設部では、昨年5月1日から鶴川水系のむかわ町、厚真町において実施しておりますが、このたび、平成30年5月1日から配信エリアを拡大し、沙流川水系の日高町、平取町において配信することとしましたので、お知らせいたします。

※ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※ 今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。
携帯電話事業者ごとの基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。

配信内容

配信文案

対象河川において、「河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位に到達した）情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を緊急速報メールを活用して配信されます。

○配信対象となる町の住民へ配信される沙流川の洪水情報の例

①河川氾濫のおそれ

【見本】

（件名）

河川氾濫のおそれ

（本文）

沙流川の富川（沙流郡日高町門別地区）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。

防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。本通知は、北海道開発局室蘭開発建設部より日高町、平取町に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

②- i 河川氾濫発生

（河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）

【見本】

（件名）

河川氾濫発生

（本文）

沙流川の平取町紫雲古津地先9.0k（右岸、南西側）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。

防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。

本通知は、北海道開発局室蘭開発建設部より日高町、平取町に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

②- ii 河川氾濫発生

（堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）

【見本】

（件名）

河川氾濫発生

（本文）

沙流川の平取町紫雲古津地先9.0k（右岸、南西側）付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。

防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。

本通知は、北海道開発局室蘭開発建設部より日高町、平取町に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

- 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく減災に関する取組方針のソフト対策に掲げているタイムラインを作成するための検討を促進しています。
- 沙流川では、平取町に続いて日高町富川地区において「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を作成し平成30年3月14日に日高町、室蘭地方気象台、室蘭開発建設部の3者による協定を締結しました。
- 平成30年度は、むかわ町タイムラインの検討を行います。



各機関との
情報連携訓練状況



室建部長

日高町長

気象台長



日高町協定式

◆水害タイムライン検討会について
検証訓練のほか、検討会について室蘭開発建設部ホームページに掲載しております。

【沙流川日高町富川地区水害タイムライン検討会】

<http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/c5b1ee0000007pfn.html>

【沙流川平取地区水害タイムライン検討会】

<http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/tn6s9g000000002v.html>

◆沙流川のタイムライン試行版

平取町及び日高町のタイムライン試行版は今後、運用・改善・修正を実施し更なる精度向上を図る予定です。

平取町とタイムライン運用について意見交換（振り返り）状況



- 各学校教育現場における防災教育の推進のため、**学校と連携し、指導計画の作成支援等**に関する取組を推進
- 災害時の危険な状況を表現した**映像教材やイラストなど**、命を守るために必要な知識を分かりやすく伝える**コンテンツを作成**

現状・課題

- 平成29年3月に改訂された学習指導要領において、防災に関する内容が充実。
- 防災教育が実施されている場を拡大し、**命を守るために必要な知識**等を習得する内容へ充実する必要。
- 地震等に比べて、**水害に対する防災教育**は十分な取組がなされているとはいえず、危険性を正しく伝えられるツールも不足しており必要性は高い。

指導計画の作成支援等

- 平成29年度に国管理河川の全ての129協議会において、防災教育に関する支援を実施する小中学校を教育関係者等と連携して決定し、**指導計画(わかりやすい授業の流れやポイントを整理した計画)の作成支援等に着手**。
- ※1協議会で1学校以上で実施
- 当協議会では、**町立鶴川中央小学校から着手し、その後他校に展開予定**
- 平成30年度末までに、国の支援により作成した指導計画等を、**都道府県管理河川を含む協議会に関連する市町村の全ての学校に共有**する予定。



伊豆の国市の発問計画の例



伊豆の国市長岡南小学校における授業の様子

水害に対する防災教育動画

- 児童**が水害時の危険な状況を理解し、**命を守るための正しい知識と日頃の供え**の習得を支援。併せて**教師・PTA**に対して防災教育の重要性を啓発。
- 国土交通省のホームページで紹介し、授業、教師・PTAへの研修、大規模氾濫減災協議会等で活用予定。
学校関係者に今後、情報提供します。

第1部
災害遭遇場面(危機意識の醸成)
⇒水害発生時に想定される危険事象を紹介



第2部
災害時の対応方策
⇒各災害場面における適切な行動・判断の方法の紹介(国土交通省提供ツール等の紹介)



避難訓練を活用した防災教育の推進

- 避難訓練及びその前後の教科学習の時間を活用**し、命を守るために必要な知識等を教えるためのマニュアルを作成予定。
- 平成29年度は全国から2校(東京、愛知)をモデル校とし、**水害を想定した避難訓練を試行**し、内容の充実を検討。



高知県黒潮町での訓練
津波の届かない高台まで避難

「命を守る」ためのイラスト集

- 児童が怖がらずに災害時の危険な状況を学ぶことができるイラスト集**を作成。
イラスト集のカードゲームを学校関係者に今後、情報提供します。



【解説】ドアの外に30cm水がたまると、ドアが開かなくなってしまおうよ!
⇒家の周りが水に浸かる前に安全な場所に逃げよう!

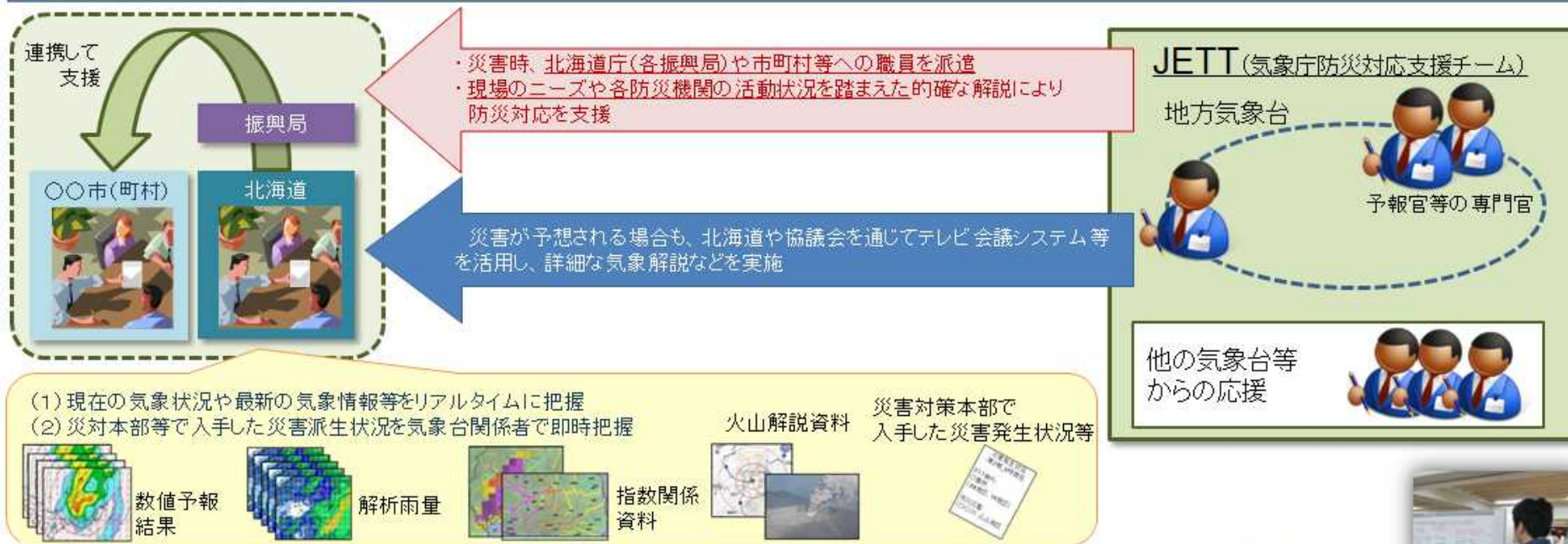
JETT (気象庁防災対応支援チーム) の創設について



気象庁
室蘭地方気象台
Muroran Local Meteorological
Office · Japan Meteorological Agency

JETT(ジェット) : JMA Emergency Task Team

- 市町村等の防災対応の支援を強化すべく、災害が発生した（又は発生が予想される）場合に、北海道庁本庁(各振興局)や市町村の災害対策本部等にJETT(気象庁防災対応支援チーム)として気象台職員を派遣。
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことにより、自治体や各防災機関の対応を支援。
- 国土交通省のTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の一員として活動。



○ 各機関へのお願い

JETTを派遣されますと、気象資料等を収集するための作業スペースが必要となりますのでご協力方よろしく申し上げます。



北海道管理区間：H29，H30での取組状況

危機管理型水位計の設置

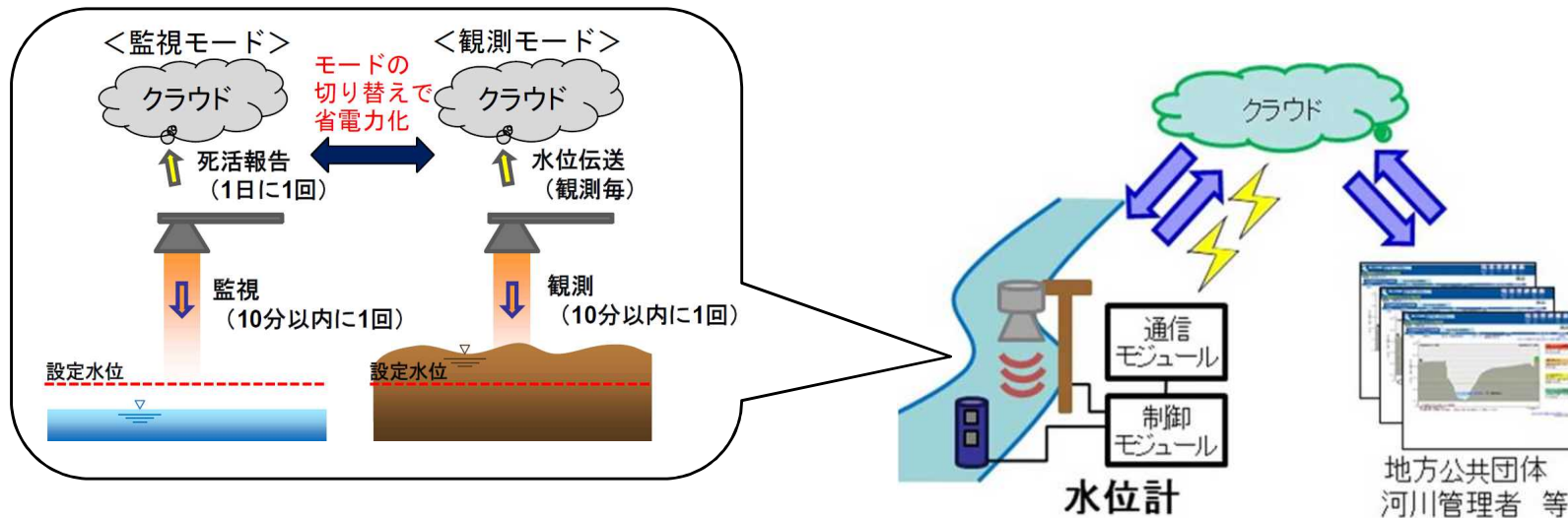
- ・避難の状況判断や河川計画等の策定のための水位計の設置が進んでおらず、洪水時における河川水位等の現況把握が困難。
- ・水位把握の必要性の高い中小河川において、洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）を設置。水位観測網の充実を図り、近隣住民の避難を支援。

【鶴川での取組状況】

- ・H30：入鹿別川（むかわ町・厚真町）及び鶴川・八戸沢川（占冠村）にて設置予定。

【沙流川での取組状況】

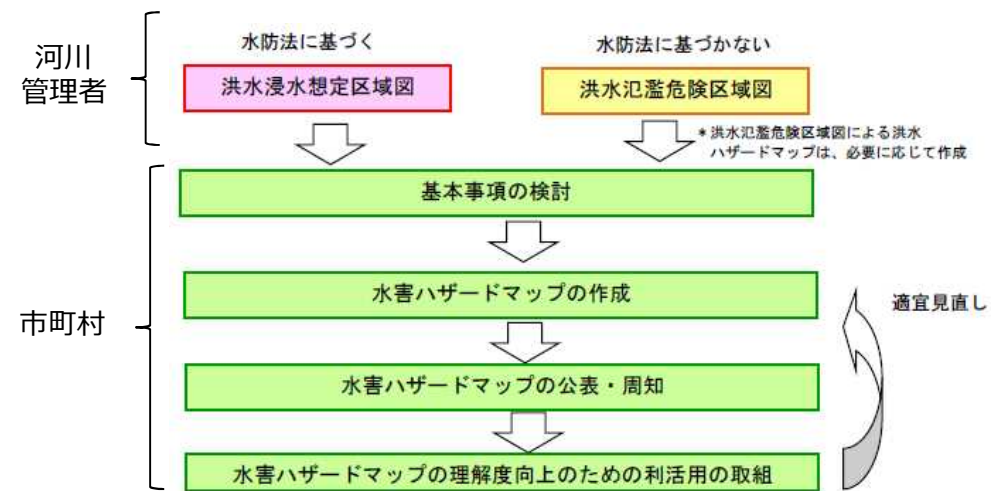
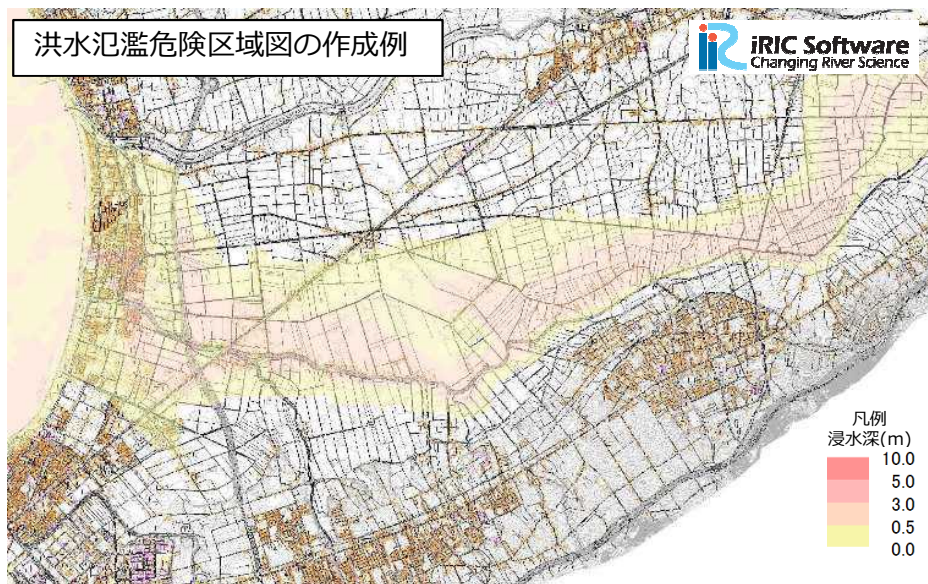
- ・H30：沙流川（平取町）及び日高門別川（日高町）に設置に向け関係機関と調整中。



北海道管理区間：H29，H30での取組状況

洪水氾濫区域図の作成

- ・水位周知河川以外の河川について、簡易な方法により洪水氾濫危険区域図を作成し、各流域の市町村長へ情報提供を予定。



参考：(国土交通省 水害ハザードマップ作成の手引き 平成28年4月)

出典：北海道の河川における洪水避難情報提供ガイドライン（案）

【鶴川での取組状況】

- ・H29：厚真川（厚真町）にて洪水浸水想定区域図を公表
- ・H30：鶴川・双珠別川（占冠村）にて洪水浸水想定区域図を公表予定。

【沙流川での取組状況】

- ・H29：沙流川（日高町）にて洪水浸水想定区域図を公表
- ・H30：厚別川（日高町）にて洪水浸水想定区域図を公表予定。